

船橋市総合計画後期基本計画策定に係る意見交換会（平成23年1月29日実施）  
意見一覧

資料 5

■後期基本計画素案全体について

NO.	意見の概要	事務局回答
1	これは32年までの10年間で進めていくとされているが、ここに挙げられている項目の中で、強弱や優先順位はどのように考えていくのか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分野別計画は網羅的なものとならざるを得ないが、具体的に推進することが明確に打ち出されているものと、当面は検討段階にあると位置づけているものなど、ある程度強弱もつけてはいる。</li> <li>・リーディングプランについても、どうしてもある程度は網羅的とならざるを得ない面があるが、もう少し船橋らしいものになるよう検討する予定である。</li> <li>・なお、基本計画のもとに財政的な裏付けのある実施計画が策定される予定であり、この実施計画の期間中に何を優先して進めていくのかは明確にしていく予定である。</li> </ul>
2	行政計画は一度決まると絶対に止まらないというイメージがあり、基本計画に記載されたものは、どんな状況になった時に何を基準にして止めるのかを明確にして欲しい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・p4の序論第1章第5節「計画の修正」に、状況に応じて必要な修正を図っていくと記載しているが、個々の分野の施策について、国で行っている「時のアセス」のような、施策を中止する基準を示すといったことは、ご指摘の通りしていない。</li> <li>・目標とする指標を基本施策ごとに設定しており、計画策定後は、この指標を用いたPDCAの仕組みをどのようにするのかを検討する予定である。</li> </ul>
3	この計画に直接記載されていない、昨年の市民会議で提案の中の細かい提案内容は、受け継がれていくのか、それとも消えてしまうのか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本計画書が成案となれば、ここに記載されている内容がすべてということになる。</li> <li>・また、計画の策定過程での議論や意図がわからなくなってしまうといけなないので、市民会議の報告書は計画策定後も適宜参照させていただく。</li> </ul>
4	この資料では今後10年間で船橋市がどこを特色としてまちを強化していこうとしているのかが読み取りづらい。記載されている取り組みの内容が多すぎて、結局10年後に船橋市をどういう状態にしたいのか、というのがわかりにくい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご指摘の通り、船橋のイメージというのが確立されておらず、船橋市の新しいイメージを作っていきたいと考えている。船橋らしい、他の市と比較して突出した魅力を作っていく必要があり、審議会でも船橋らしさを打ち出すようにという指摘を頂いている。</li> <li>・例えば、船橋市はこの近くには寺町など歴史的な風景も有しているが、歴史的資源としては文化財止まりのものが多く観光資源になっていない。これらをステージアップさせていくことも課題と考えている。</li> </ul>
5	今回の計画が市の財政状況とどのように連動しているのかを示して頂くことはできないか。市民に住み続けて欲しいと訴えかけるのであれば、市民が市に要望し、市はそのための協力を市民に求める、というクルマの両輪のようなものが成り立つようにするために、財源の問題に関してもきちんと説明する必要があるのではないか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分かりやすく説明するのは難しい面もある論点であるが、計画策定後の市民説明会に向けて、分かりやすいイメージで説明する方法を検討していきたいと考えている。</li> <li>・市としても駐車場の有料化や庁舎内の有料広告の導入など新たな財源確保に向けた工夫、新たな財源となる企業の誘致や働く世代の導入など、財源確保に向けてさまざまなことに取り組んでおり、これらをすべて分かりやすく説明するのは難しいが、出来る限り工夫したいと考えている。</li> </ul>
6	全体的に施策の数値目標が示されており、わかりやすいが、PDCAサイクルを運用するには数値だけではなく、定性的な評価についても重視して欲しい。	
7	今後、この計画を進めるために財源確保が重要であり、地域の経済活性化に向けて、高齢化に対応した、かつての船橋ヘルスセンターのような健康増進型施設の誘致や、市長に知名度のある人物を招くといった取り組みが必要ではないか。	
8	船橋が一体感がないと言われるのは、船橋市民が船橋市のことを知らないためではないか。市の歴史をパンフレットなどにまとめて発行したり、船橋市の魅力とは何かを教育の場でも教えるといったことに取り組んでほしい。	

■序論

NO.	章	節	項目	意見の概要	事務局回答
9	2	2	1	「人口規模想定」について、2割以上が既に高齢者であり、将来の高齢化の進展を考えると、今後は取りやめて行かなくてはならない事業もあるはずである。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者福祉に係る政策をきちんとやっていくためには財政基盤の安定化を進めていくことが必要と考えている。</li> <li>・また、それでもある程度歳出を抑制する必要があると思われるため、どこに集中を図っていくのかも重要な課題と考えている。</li> <li>・さらに、全国的には人口が減少している中で、船橋市の人口が今後も伸びつづけ、活力を維持していくために、船橋が積極的に選ばれる「選ばれる都市」となるための方策を考える必要がある。</li> </ul>

■リーディングプラン

NO.	プラン	大項目	小項目	意見の概要	事務局回答
10	①			市外の人からみると船橋市は犯罪が多いまちだとイメージがあるのではないかとと思われる。とすると、犯罪対策に真っ先に取り組むべきではないか。	
11	①			高齢者福祉については、最初から福祉サービスの充実度合いを考えて船橋市に転入してくるということはない(したがって優先度は低い)のではないか。	
12	②	主な取組	②	自転車の利用を促進していくとされているが、道路に歩道が非常に少ない中で自転車が増加しており、この自転車利用者のマナーが良くない。このため、自転車利用者のマナーについても計画の中で取り上げていただきたい。	
13	④			道路の問題、駅前の整備の問題については、道路をまず整備した上で、駅前の整備に進むべきではないか。	

■分野別計画

NO.	基本政策	政策	基本施策	施策	意見の概要	事務局回答
14	1	1	1	3	事業を実施する時には、例えば医療センターの検討にあたっては医療の現場に居る方々の意見を聞くなど、それぞれその事柄に現場で関わっている人の意見も聞いて頂きたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別計画の検討においては、多くの場合、市民に加えて当該分野の関係者の意見もいただきながら策定している。</li> </ul>
15	1	1	2		民生委員の人との面接や健康診断、健康維持のための取り組みに関する案内など船橋市の高齢者の健康づくり支援に関するサービス、体制は優れていると感じている。	
16	1	2	2	3	病気を持っている子供に対する保育サービスのあり方について、保育園はアレルギーがある子どもは受け入れてくれない場合が多く、逆に幼稚園で受け入れてくれる場合もあるが受入体制が十分とはいえない。神奈川県では学校でのアレルギー児対策が充実しており、同様の取り組みを船橋市でも是非行って欲しい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園に関しては、公立では各園に看護師がいるので、新しい基本計画においては、地域の医療体制とネットワークを整備することで、ご指摘のような取り組みも進めていければと考えている。</li> </ul>
17	1	2	4		高齢者に関して一番の問題は孤独死ではないか。また、高齢化の進展に関連して、今後は空き家対策が必要ではないか。	

18	3	1	1		「生涯学習の推進」に関する施策は、学習する場の提供に留まっているように思われ、どうやって人間的なふれあいを具体的に促進するのかについて触れていないように思える。	・3-1-2「生涯学習によるまちづくりの推進」において、生涯学習の成果を地域に還元していく取り組みを促進することとしている。 ・また、目標指標において、生涯学習サポート事業の件数を掲げている。これは、知識や技術を教えることのできるボランティアの方を、学びたい人々にご紹介する事業である。
19	4	1	1		他の先進地域では観光資源に関するパンフレットなど情報提供の充実やボランティアガイドの育成といった取り組みをしており、船橋市も同様に地域の観光資源を活用する工夫をすると良いのではないかと感じる。	
20	4	1	3		今、各地でB級グルメを競っている中で、船橋市のB級グルメのコンクールを開催すると、話題になって良いのではないかと感じる。	
21	5	3	1		船橋市に住んで18年になるが、ほとんど道路が改善されていないと感じる。道路がいつまでたっても良くならないと、船橋市で育った若い人たちが転出していってしまう。計画の中で今後具体的にどここの道路が整備されていくか、次年度はどこが整備されるのかといった事が具体的に見えるようにしてほしい。	・基本計画とは別に、都市計画マスタープランという計画が策定されており、道路のことはこの中に具体的に記載されている。 ・ただし、個別の道路に関していえば、用地買収が進まないことが課題となって、整備がなかなか進まないという事情があるケースが多い。
22	5	4	1	2	街を見ていて、建ぺい率がぎりぎりの建物が多い。建ぺい率はきちんと守られているのか疑問に感じている。	
23	6	1	2		広報に関することはすごくよくなっていると感じる。	
24	7	1	2	4	中山地区は船橋市と市川市の境界沿いにあるので、両市で相互に住民票関係の手続きができるようにすると良い。	